

## 2 ページ

### Basic Information / 基本情報

#### Duration / 開催期間

説明：～年～月 から ～年～月まで

2012年1月 から 2016年4月まで

#### Staff / スタッフ

説明：青年会議所メンバーの参加人数

例：何人 ○○member

2013年度 50MEMBERS

2014年度 50MEMBERS

2015年度 50MEMBERS

#### Sponsors / 支援者

説明：青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例：○○市ボランティア団体等

講演者 保坂展人（世田谷区長）

講演者 桑島俊彦（世田谷区商店街連合会会長）

講演者 畑山麗衣（児童養護施設出身者）

講演者 草間吉夫（児童養護施設出身者・高萩市長）

講演者 福田雅章（特定非営利活動法人青少年の自立を支える会理事長）

世田谷区教育委員会

世田谷区社会福祉協議会

世田谷区商店街連合会

東京世田谷ロータリークラブ

東京世田谷南ロータリークラブ

東京世田谷ライオンズクラブ

公益社団法人世田谷法人会

公益社団法人北沢法人会

公益社団法人玉川法人会

東京商工会議所世田谷支部

NPO 法人国際ボランティア学生協会

学校法人原宿学園東京デザイン専門学校

社会福祉法人福音寮

社会福祉法人読売光と愛の事業団

## Budget 予算

説明：ドルで表示してください。

例：1万円なら one hundred dollar

2013 年度 \$4,000.00-

2014 年度 \$4,000.00-

2015 年度 \$4,000.00-

## Profit / Loss 利益／損失

説明：基金を集めること以外は、0にしてください

0

Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目（もしあれば）

説明：

特になし

Who is benefited? 誰の為に？

説明：活動エリアに住み暮らす人々 人

世田谷区に住み暮らす人々88万人

## Objective 目的

説明：(例1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

JCI 東京は、下記の内容を目的とした。

- ①児童養護施設退所者が、家族により養育された若者と、経済面・精神面で同じスタートラインに立つことができる地域社会を実現すること
- ②地域のすべての若者が未来を切り拓くことが可能となる地域社会を実現すること

理由

児童虐待等で親の養護を受けることができない子どもたちは、児童養護施設等で社会的養護を受けることが保障されている。しかし、児童養護施設入所者は、高校卒業時の18歳になると、施設を退所しなければならない。大学・専門学校への進学者は、アルバイトをしながら、学費と生活費を稼ぎ、心身ともに張りつめた生活をしなければならない。その結果、区内の児童養護施設退所し、大学・専門学校への進学者の中退率は約8割となっている。

この割合は、家庭で養護されている若者よりも極めて高い割合となっている。

そこで、JCI 東京は、児童養護施設退所者が抱える問題を解決するためには、

- ①家庭で養護されている若者と同等の安定的な生活基盤を築く
- ②家族の精神的支援を受けられない若者に対する地域団体及び地域の大人による精神的支援

が必要であると考えた。

JCI 東京は、この児童養護施設退所者が抱える問題を解決することで、地域の全ての若者が夢をかなえるスタートラインに立ち、未来を切り拓くことが可能となる地域社会を実現することにつながると思う。

## Overview 概要

説明：必ず結果と合致しているはず

JCI 東京は、目的を達成する為に、以下の事業を開催した。

### ① シンポジウム

JCI 東京は、行政及び世田谷区民に対し、児童養護施設の退所者が抱える経済的困難・政治的孤立の問題を発信する為に、シンポジウムを開催した。

JCI 東京は、多くの区民にポジティブチェンジを引き起こす為に、行政と民間団体 10 団体と連携し、共同で事業を運営した。

#### ・児童養護施設退所者による講演

JCI 東京は、児童養護施設退所者による講演を行うことで、児童養護施設退所者が抱える経済的困難・政治的孤立の問題を発信した。

JCI 東京は、児童養護施設退所者の問題を解決するには、地域の大人たちが、継続的に

入所者と関わるということが重要であることを発信した。

JCI 東京は、児童養護施設退所者との交流による支援を行う活動への参加を促した。

・行政とのパネルディスカッション

JCI 東京は、児童養護施設退所者の経済的困難の問題を解決する為に、行政に対し、行政による住宅支援及び給付型奨学金の導入による経済的支援を求めた。

・民間団体とのパネルディスカッション

JCI 東京は、商店街代表者に対し、児童養護施設退所者を地域で支援する仕組みとして、就業体験やアルバイトの受け入れにより、入所者と継続的な関わりを持つことを求めた。

② 入所者との継続的関わり

・児童養護施設入所者との関わり

JCI 東京は、児童養護施設退所者の精神的孤立の問題を解決するには、入所時から継続的な関わりを持つことで信頼関係を構築することが必要であると考えた。

JCI 東京は、2013 年度より、地域団体と共に、入所者といかだを製作し、いかだ下り大会に参加した。

JCI 東京は、地域団体と共に、入所者との夢を語り合う会を開催した。

JCI 東京は、地域団体と共に、入所者との食事会を開催した。

・児童養護施設退所者との交流会

JCI 東京は、児童養護施設退所者と食事会を定期的に行い、退所者が抱える問題について語り合い、解決策を示した。

JCI 東京は、退所者との交流会に、地域団体や地域の大人たちの参加を促した。

## Result 結果

説明：複数の短い文章になるように注意してください

目的がどのくらい達成できたか書いてください

上記の結果の想定外の結果を書いてください

上記の結果の確認方法を書いてください

検証結果を簡潔に書いてください

JCI 東京は、市民のポジティブチェンジを引き起こし、地域社会の発展に積極的に関わる ACTIVE CITIZEN を創造した。

#### ①行政による支援が開始

世田谷区は、シンポジウムの後に、2016 年度より、児童養護支援を退所した若者に対し、以下の支援を決定した。

- ・住宅支援（月額 1 万円での行政が保有する施設の貸与）
- ・給付型奨学金（年額 36 万円）

#### ②シンポジウム参加者に対するアンケート結果

シンポジウムに参加し、児童養護施設退所者に対する支援の必要性を感じたという回答は 100%でした。

シンポジウムに参加し、児童養護施設退所者を支援する組織に参加したいと感じたという回答は 90%でした。

#### ③児童養護施設退所者を支援する組織の設立

JCI 東京は、シンポジウム開催後、児童養護施設退所者の精神的孤立を解決することを目的とした組織を設立する為に、行政及び民間団体 9 つによる準備会議を行った。

そして、JCI 東京は、2016 年 3 月より、児童養護施設退所者の精神的孤立を防止する為に、児童養護施設退所者を招いた定期的な交流会の開催を開始した。

また、世田谷区の商店街は、児童養護施設と連携し、2016 年度から、入所者との信頼関係構築を目的とした就業体験の開催が決定した。

### Actions Taken 行動

説明：

2013 年

- 1 月 児童養護施設退所者の問題について事業の計画を企画
- 2 月 世田谷区・教育委員会等への協力要請
- 5 月 本事業に対する世田谷区・教育委員会等の協力受諾の確認
- 7 月 児童養護施設入所者との交流（いかだ作り・夢の語り合い・食事会）
- 8 月 児童養護施設入所者といかだ下り大会（参加者 2,000 名）へ参加
- 9 月 シンポジウム開催（参加者 200 名）
  - ①児童養護施設入所者へ、夢を持つことの重要性を伝える
  - ②行政へ、住宅支援及び給付型奨学金開始の要請
  - ③地域の大人へ、児童養護施設退所に対する継続支援の要請
- 10 月 区内イベント（せたがや未来博 2013・参加者 2,500 名）における地域団体への

## 運動発信

11月 事業報告書による一般への運動発信

### 2014年

1月～7月 児童養護施設入所者との定期的な食事会や交流会の開催

8月 区内イベント（せたがやふるさと区民まつり・参加者 40,000名）のお祭りでのブース設営

児童養護施設入所者といかだ下り大会（参加者 2,000名）へ参加

9月 シンポジウム開催

- ①児童養護施設退所者が抱える問題の共有
- ②行政へ、住宅支援及び給付型奨学金開始の要請
- ③地域の大人へ、児童養護施設退所に対する継続支援の要請

10月 区内イベント（せたがや産業フェスタ・参加者 2,500名）における地域団体への運動発信

11月 事業報告書による一般への運動発信

### 2015年

1月～7月 児童養護施設入所者との定期的な食事会や交流会の開催

8月 区内イベント（せたがやふるさと区民まつり・参加者 40,000名）のお祭りでのブース設営

児童養護施設入所者といかだ下り大会へ参加（参加者 2,000名）

商店街のイメージキャラクターデザイン

9月 シンポジウム開催

- ①児童養護施設退所者が抱える問題の共有
- ②行政による住宅支援及び給付型奨学金開始の発表
- ③地域の大人へ、児童養護施設退所に対する継続支援の要請
- ④商店街へ、就業体験やお祭りへの参加等による定期的な支援の要請

10月 区内イベント（せたがや産業フェスタ・参加者 2,500名）における地域団体への運動発信

11月 事業報告書による一般への運動発信

JCI 東京による地域交流支援についての検討会開催

参加者 世田谷区 地域団体 6団体

### 2016年

1月～2月 児童養護施設退所者への地域交流支援について打合せ

3月 児童養護施設入所者、退所者、地域団体の交流会の実施

#### 4月 行政による住宅支援及び給付型奨学金支給の開始

#### Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか？

達成できなかった部分は、何か？

それは、なぜか？その改善策は？

JCI 東京は、シンポジウムや地域交流支援に向けた活動により、以下の内容で目的を達成した。

①JCI 東京の事業をきっかけとして、行政による住宅支援及び給付型奨学金が開始された。これにより、児童養護施設退所者の経済的困難の問題について、家庭で養護される若者と同じレベルに近づいた。

②JCI 東京による児童養護施設退所者と地域団体との定期的な交流会や、商店街による支援が開始され、児童養護施設退所者の精神的孤立の問題について解決に向けて動き出した。

③JCI 東京によるシンポジウムをきっかけとして、児童養護施設退所者が抱える問題を発信し、退所者を支援する組織に参加したいと考える ACTIVE CITIZEN が増加した。

JCI 東京が達成できなかった部分は、退所者支援に参加したい ACTIVE CITIZEN に対し、具体的な参加方法を提示することができなかった点である。

JCI 東京は、この点については、退所者との交流会が軌道に乗った段階で広く告知を行い、実際に参加を促すことにより改善されると考える。

部門 Long term Local Community program

3 ページ

Objectives Planning Finance and Execution

目的・計画・財務・実施

## What were the long term objectives of this program

このプログラムの目的は？基本情報に詳述して下さい

JCI 東京は、下記の内容を目的とした。

- ①児童養護施設退所者が、家族により養育された若者と、経済面・精神面で同じスタートラインに立つことができる地域社会を実現すること
- ②地域のすべての若者が未来を切り拓くことが可能となる地域社会を実現すること

## How does this program align to the JCI Plan of Action?

この事業は、どのように J C I の活動計画と合っていますか？

本事業は、2015 年の行動計画にある「影響力」「意欲」「投資」「協力」「つながり」の 5 つの行動のうち、「影響力」「協力」「つながり」の 3 つの行動を可能とする。

### ①影響力

児童養護施設退所者を行政・地域団体・地域の大人たちが一体となって支えるモデルは、事業継続の上で極めて重要であると共に、地域全体に運動を発信することが可能である。

### ②協力

本事業は、児童養護施設退所者を支援するという同じ目標に向けて、地域団体や地域の大人たちを結集し、行政による支援を引き出すことにより、持続可能な解決策を生み出した。

### ③つながり

本事業では、行政や地域団体、地域の大人たち、卒業生と児童養護施設退所者が抱える問題を共有し、解決の為に各々がすべき行動を共有することにより、より良い解決策を示し、実現した。

## Was the budget an effective guide for the financial management of the project?

予算は事業の財務管理のための効果的なガイドになりましたか？

より多くの市民にポジティブチェンジをするための機会を与えるために、シンポジウム等への参加費を 0 とした。

その為に、長年の行政及び児童養護施設との信頼関係によって、会場費の低減や講演費用が無料となった。

## How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業は、JCIのミッションと、ヴィジョンを推進しましたか？

ビジョンとミッションに分けて明確に詳述してください

ビジョン（若き能動的市民のグローバルネットワークになる）

JCI 東京が中心となり、行政と地域団体・地域の大人たちが一体となって児童養護施設退所者を支援する仕組みを構築することにより、地域にインパクトを与えることができた。

ミッション（青年が積極的な変革を創造し開拓するために能動的に活動できる機会を提供する。）

JCI 東京は、市民に対し、地域を支える子どもたちを支援する取組みに参加する機会を与え、彼らは ACTIVE CITIZEN として成長した。

### ページ 4

By number, how many members were involved in this program?

事業のスタッフは、何人？数字で記載してください

50 MEMBERS

By percentage how many members of the Local Organization were involved in this program?

LOM メンバーの参加率は、何パーセントですか？%で記載してください

90%

Describe the main roles of the participating members in this program

このプログラムで参加しているメンバーの主要な役割を簡潔に記述してください

- ①児童養護施設入所者との関わり担当
- ②児童養護施設退所者との関わり担当
- ③シンポジウム担当
- ④児童養護施設退所者支援のための準備会議担当
- ⑤商店街における就業体験担当

### ページ 5

Community Impact 地域社会への影響

How did the Local Organization measure community impact for this program

どのように、LOMは、このプログラムのために地域社会への影響を測りましたか？

行政による取り組みの変化

シンポジウム参加者に対するアンケート実施

### Describe the actual community impact produced by this project

このプロジェクトによって発生される実際の地域社会への影響を記述してください

JCI 東京は、市民のポジティブチェンジを引き起こし、地域社会の発展に積極的に関わる ACTIVE CITIZEN を創造した。

#### ①行政による支援が開始

世田谷区は、シンポジウムの後に、2016 年度より、児童養護支援を退所した若者に対し、以下の支援を決定した。

- ・住宅支援（月額 1 万円で、世田谷区が保有する施設を貸与）
- ・給付型奨学金（年額 36 万円）

#### ②シンポジウム参加者に対するアンケート結果

シンポジウムに参加し、児童養護施設退所者に対する支援の必要性を感じたという回答は 100%でした。

シンポジウムに参加し、児童養護施設退所者を支援する組織に参加したいと感じたという回答は 90%でした。

#### ③児童養護施設退所者を支援する組織の設立

JCI 東京は、シンポジウム開催後、児童養護施設退所者の精神的孤立を解決することを目的とした組織を設立する為に、行政及び民間団体 9 つによる準備会議を行った。

そして、JCI 東京は、2016 年 3 月に、児童養護施設退所者の精神的孤立を防止する為に、児童養護施設入所者及び退所者を招いた定期的な交流会を開催した。

また、世田谷区の商店街は、児童養護施設と連携し、2016 年度から、入所者との信頼関係構築を目的とした就業体験の開催が決定した。

Impact on Local Organization LOMへの影響

How did the Local Organization benefit from running this project?

どのようにLOMは、この事業を運営することから利益を得たか？

LOMメンバーは、児童養護施設退所者の抱える問題を認識し、実際に入所者や退所者との関わりを行うことにより、地域の大人たちが地域の子どもたちを育む意義を理解した。

How did the program advance the JCI Mission?

どのようにJCIミッションを推進したのか？

LOMメンバーはACTIVE CITIZENを創造する過程で、自らもより能動的に動けるポジティブチェンジを遂げた。

ページ7

Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期的な影響は、なんですか？

- ・本プロジェクトにより、より多くの市民が、児童養護施設退所者の支援を通してACTIVE CITIZENとなることにより、継続的な地域発展を目指して活動していく。
- ・行政と民間団体、地域の大人たちが連携して児童養護施設退所者を支援するモデルが東京だけに留まらず全国的に広がることにより、日本全国の児童養護施設退所者を支援する活動へと発展する。
- ・行政と民間団体、地域の大人たちが連携した児童養護施設退所者への支援が定着化することにより、児童養護施設退所者以外の子供の貧困問題についても、同様のシステムにより支援する活動へつながる。
- ・すべての子どもたちが、同じスタートラインに立つことができる仕組みが出来上が

り、次代を担う子どもたちを地域で支援する社会になる。

**What changes Would you make to improve the results of this project?**

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか？

より多くの市民が参加して、ACTIVE CITIZEN を創造する為に、

- ①児童養護施設退所者の支援を継続的に実施する。
- ②広報により参加者を増やす。
- ③より多くの団体と連携する。